

2009年8月3日

**HSBC ホールディングス plc  
2009年中間決算－ハイライト**

**・困難な時期に一貫して成果を生み出す**

- ・ クレジットスプレッドを伴う自社債務の公正価値の変動分を除く営業ベースで、税引前当期純利益は75億米ドルとなり、概ね2008年上半期並みの水準を確保。
- ・ 報告ベースの税引前当期純利益は50億米ドルとなり、2008年上半期に比べ51%減少したが、2008年下半期との比較では大幅に改善。
- ・ 地域的にも事業的にも分散されたビジネス・モデルにより、クレジットスプレッドを伴う自社債務の公正価値の変動分を除く営業ベースで、2008年上半期に比べ10%増の強固な収益が生み出された。報告ベースでは収益は12%減。
- ・ 報告ベースの1株当たり利益は63%減の0.21米ドル（2008年上半期には、株主割当増資調整後で0.57米ドル）。
- ・ 2009年上半期の配当金合計額は普通株式1株当たり0.16米ドルで、総額は28億米ドル。

**資本の創出と流動性の更なる強化**

- ・ Tier1 資本比率はさらに改善して10.1%となった。2008年12月31日現在のTier1 資本比率は8.3%、プロフォーマ・ベースで9.8%だった（株主割当増資の手取金を含む）。
- ・ 強化された流動性ポジション。預貸率は2009年6月30日現在で79.5%。
- ・ 保守的に構成されたバランスシート。リスク加重資産は2008年期末並みの水準。

**景気下降期における事業の管理と景気回復に向けた態勢の構築**

- ・ グローバル・バンキング&マーケッツ事業で過去最高益を達成。
- ・ 商業銀行事業で堅調な収益力を実現。
- ・ 北米を除き、個人金融サービス事業で黒字を維持。
- ・ 中国本土で最も有力な国際的銀行としての地位を強化。上位3件までの戦略的投資案件の価額は82億米ドル増加し、年末までに100支店とする計画が順調に進行中。
- ・ 他の急成長市場でも地位強化を実現。例えば、インドネシアでは支店網を2倍に強化し、ベトナムでは現地法人化した最初の外国銀行となった。
- ・ 米国のランオフ・ポートフォリオの縮小が進展した。
- ・ 2008年に発生した営業権減損を除く営業ベースで経費を3%削減。報告ベースでは、HSBCのコスト効率比率は3.1%改善して47.9%となった。
- ・ HSBCのブランドがさらに強化された。HSBCは世界で最も価値のある銀行ブランドとされ、『ユーロマネー』誌により「ベスト・グローバル・バンク」に選出された。
- ・ HSBCは景気回復に向けて強力な態勢を構築しているが、景気見通しは依然不透明な状態。

**HSBC ホールディングスの 2009 年上半期税引前当期純利益は 50 億 1,900 万米ドル**

HSBC の税引前当期純利益は 50 億 1,900 万米ドルと、2008 年上半期に比べ 52 億 2,800 万米ドル（51%）減少した。

純利息収益は 205 億 3,800 万米ドルと、2008 年上半期に比べ 6 億 4,000 万米ドル（3%）減少した。

貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金繰入額控除前の純営業収益は 347 億 4,100 万米ドルと、2008 年上半期に比べ 47 億 3,400 万米ドル（12%）減少した。

営業費用総額は 166 億 5,800 万米ドルと、2008 年上半期に比べ 34 億 8,200 万米ドル（17%）減少した。営業ベースおよび恒常通貨ベースで見た場合、営業費用は 6%の減少となる。

HSBC のコスト効率比率は 2008 年上半期の 51.0%に対し 47.9%となった。

2009 年上半期の貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金繰入額は 139 億 3,100 万米ドルと、2008 年上半期に比べ 38 億 7,300 万米ドル増加した。

2009 年 6 月 30 日現在のグループの Tier1 資本比率と自己資本比率はそれぞれ 10.1%、13.4%と高水準を維持した。

2009 年 6 月 30 日現在のグループ総資産は 2 兆 4,220 億米ドルと、2008 年 12 月 31 日以降 1,050 億米ドル（4%）減少した。

地域別の営業成績

	2009年上半期		2008年上半期		2008年下半期	
	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%
税引前当期純利益／(損失)						
欧州	2,976	59.3	5,177	50.5	5,692	605.5
香港	2,501	49.8	3,073	30.0	2,388	254.1
その他のアジア太平洋地域	2,022	40.3	2,634	25.7	2,088	222.1
中東	643	12.8	990	9.7	756	80.4
北米	(3,703)	(73.8)	(2,893)	(28.2)	(12,635)	(1,344.1)
ラテン・アメリカ	580	11.6	1,266	12.3	771	82.0
	<b>5,019</b>	<b>100.0</b>	<b>10,247</b>	<b>100.0</b>	<b>(940)</b>	<b>(100.0)</b>
税金	(1,286)		(1,941)		(868)	
当期利益／(損失)	<b>3,733</b>		<b>8,306</b>		<b>(1,808)</b>	
親会社株主帰属利益／ (損失)	3,347		7,722		(1,994)	
少数株主持分帰属利益	386		584		186	

事業別の営業成績

	2009年上半期		2008年上半期		2008年下半期	
	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%
税引前当期純利益／(損失)						
個人金融サービス事業	(1,249)	(24.9)	2,313	22.6	(13,287)	(1,413.5)
商業銀行事業	2,432	48.5	4,611	45.0	2,583	274.8
グローバル・バンキング& マーケッツ事業	6,298	125.5	2,690	26.2	793	84.3
プライベートバンキング 事業	632	12.6	822	8.0	625	66.5
その他	(3,094)	(61.7)	(189)	(1.8)	8,346	887.9
	<b>5,019</b>	<b>100.0</b>	<b>10,247</b>	<b>100.0</b>	<b>(940)</b>	<b>(100.0)</b>

## スティーブン・グリーン グループ会長のご報告

### 不透明な状況の中で一貫して成果を達成

2009 年上半期に、HSBC は計画どおりの業績を達成することができました。

このたびの未曾有の経済危機により混迷する経済・金融市場において、いずれの金融機関も、自社のビジネス・モデルに最適ナリスク水準とは何かを慎重に検討せざるを得ませんでした。HSBC は引き続き保守的なバランスシートの構成を維持する一方で、世界的な景気の底打ちが見えた際の、持続的かつ長期的成長を実現すべくその体制作り注力しています。そのための措置についてはマイケル・ゲーガンがそのレビューの中で説明しています。

今回の業績は、HSBC が景気循環の全サイクルを通して、たとえ厳しい市況の中であっても利益を実現し、資本を創出し、株主に利益分配もできるということを証明しました。また、全体的な収益力は年初の予想を上回り、我々はこれらの結果に満足しています。この結果の大部分は、グローバル・バンキング&マーケッツ事業の卓越した成績を反映したものです。また、3 月には米国における消費者金融事業の主要部分から撤退するとの決定を発表しましたが、その事業縮小の進展も反映されています。昨年後半には極めて厳しい状況となりましたが、2009 年の引当金は、失業率が上昇しているにもかかわらず、今のところ想定水準を下回っています。

報告ベースの税引前当期純利益は 50 億米ドルで、2008 年下半期を 60 億米ドル上回りましたが、同上半期との比較では 51%減少しました。自社債務のクレジットスプレッドを伴う公正価値の変動分を除いた営業ベースの税引前当期純利益は 75 億米ドルとなり、概ね 2008 年上半期並みの水準を確保しました。

HSBC は基本的に預金中心の金融グループであり続け、ビジネス・モデルは長期的な顧客との関係の維持と、世界の急成長市場の重視です。このことは、収益構造を顧客層と地域の両面で分散させ、今回のような困難な経済状況に対する当グループの耐久力、回復力の源泉となっているのです。

### 資本金増強

HSBC は強固な資本構成と高水準の流動性をともに備えています。4 月に完了した株主割当増資により 178 億米ドルの株主資本が調達され、財務状況が強化されました。多くの金融機関が政府の支援に依存する状況にあつて、株主割当増資に対して 97%の協力を得ることができました。その規模と実施された環境を鑑みれば、これは HSBC の将来に対する株主の皆様が力強い信任投票だと言えるでしょう。皆様の支援に心から感謝申し上げます。

預金獲得成績は、法人・個人ともに、平年を下回っているものの、預金は依然 HSBC の銀行経営哲学の核心をなすものであり、預貸率（報告ベース）は 79.5%と保守的な水準を維持しています。

Tier1 資本比率はさらに改善して 10.1%となりました。2008 年 12 月 31 日現在の Tier1 資本比率は 8.3%、株主割当増資の受取金を含むプロフォーマ・ベースで 9.8%でした。2008 年 6 月 30 日時点のコア Tier1 資本比率は 8.8%でした。

株主割当増資の時点で予定したとおり、7月8日に第1回中間配当として普通株式1株当たり0.08米ドルを支払いました。取締役会は、第2回中間配当として普通株式1株当たり0.08米ドルを承認しています。配当金は2009年10月7日に支払われます。ご希望に応じて株式で配当を受けることもできます。

### 明確な戦略の追求

HSBCの戦略は変化していません。HSBCは、新興国市場でのリーダーシップと国際的なコネクティビティと規模で優位に立つグローバル・ネットワークを結合することにより、世界有数の金融グループとしての地位を維持します。最近の金融と経済の混乱は、むしろ、この戦略が正しいものであるという当グループの確信をかえって強める結果となりました。われわれは引き続き、この戦略を維持することが持続可能な成長をもたらすものと確信しており、また、景気循環のあらゆるサイクルにおいて、15～19%という総株主持分の目標が達成可能であると考えています。

株主割当増資により当グループの資本力が強化され、それに伴い、経済、制度の変化を乗り切ること、ブランドと顧客との関係の向上に向けて長期的な意思決定を下すこと、そして、自信をもって戦略に沿った事業拡大の機会を追求することが可能となりました。

### 新興国市場における成長

少なからぬ企業が目先のことに精一杯となるような時期にあっても、当グループの新興国市場の事業展開を推進するという志向はこれまでどおり堅持されています。

多くの銀行が、資本の源泉となる戦略的投資から撤退していく一方で、HSBCは、逆に、そうした関係に対する長期的で戦略的なアプローチを継続しています。中国本土における当グループの上位3件までの戦略投資案件の市場価値は、買収後大きく上昇し、2009年上半期中には82億米ドル増加しました。

不透明なこの時期、新規のビジネスチャンスについては厳格に再検討していますが、顧客の需要がある限り、われわれの戦略に沿って買収を伴わない事業展開を推し進めていきます。HSBCが国際的な銀行の中で最大の投資を行い、最大の支店網を有する中国本土では、7月に初めて人民元による国際取引の決済を実施し、また、6月には香港で最初の人民元建て変動利付債を発行しました。ベトナムでは、現地法人化した最初の外国銀行となりました。HSBCプレミアの顧客数は290万人に増加しましたが、その半数以上が新興国市場の顧客で占められています。

2009年上半期に当グループは、以前発表したインドネシアにおける買収を完了し、また、インドでは買収済み企業を完全に統合しました。さらに、中国本土では、共同保有する新保険会社に対する規制当局の承認を獲得しました。

### 業界と規制の動向変化

規制改革ならびに銀行資本の質と量および流動性の改善が必須であるとの合意が形成されつつあります。現在、そのような規制上の変更をどのように個々の金融機関に適用すべきかに関する議論が展開されていますが、その際、個々の金融機関がとっているリスクに対応し、かつ、信用供与を滞らせたり不必要にコストを増大させたりすることなく全体的な安定性を高めるような方法で規制改革を実行することが求められています。金融業界の再

編にあたっては、国際的に事業展開し、広範な金融商品を必要とする顧客にサービスを提供できる多角的・総合的金融グループが間違いなく重要な役割を果たすこととなります。

したがって、当グループとしては、「ナローバンク論」への回帰や、それに伴う、個人向け銀行業務や商業銀行業務と法人向け銀行業務との分離に対する要求が、退けられたことに満足しています。そのようなアプローチで金融の安定性が強化されるとは考えられません。あらゆる銀行業務モデルが今回の危機で何らかのダメージを被りましたが、これまで見るどころ、特に小規模で業務範囲の限定された金融機関ほど大きなダメージを受けたと言えるでしょう。どのようなアプローチであれ、グローバルな成長や、金融革新、信用形成を阻害するようなアプローチを遂行するのは危険なことだといえます。つまりは、このグローバル市場の時代にあって、お客様に異なる金融サービス毎にそれぞれ異なる金融機関の利用を強制するようなことは論外であるということなのです。

言うまでもなく、規制は、金融システムにおいて露呈されてきた欠陥に対する万能薬ではなく、再生のプロセスには、金融業界全体に正しい価値を浸透させることが必要です。HSBCでは、140年以上にわたり企業文化と価値観を注意深く築き上げ、育て上げてきました。グループ会長として私は、HSBCが常に自身の基準に真摯であり、銀行業務の基本に忠実であり続けるようにするのが私の責任の一つであって、取締役会の検討課題としてそれ以上に重要なテーマはあり得ないと信じています。

#### 依然極めて不透明な景気見通し

政府や中央銀行の政策の効果が金融システムに浸透するなかで、金融セクターの事業環境は引き続き改善に向かいつつあり、金融市場は最悪の局面を脱したか、あるいはその直前にあると思われます。

それにもかかわらず、経済全体の回復の時期、様態、規模については依然強い不透明感が漂っています。成長に対する数多くの重大な阻害要因が残っているかぎり、HSBCもこれまでどおり慎重な見通しを維持します。

見通しの困難なマクロ経済にもかかわらず、継続的に成果を達成するHSBCの能力に対する確信は揺るぎません。持続可能な銀行業務こそがHSBCの最優先事項です。HSBCとしては、新興国市場での躍進と、国際的なコネクティビティと規模により生み出される優れた商品を中心とした成長戦略を追求するなかで、株主のための持続可能な長期的成長を実現することはもちろん、より広く社会全体に貢献しバランスのとれた経済発展の力となるものと確信しています。

## グループ・チーフ・エグゼクティブ マイケル・ゲーガンによるレビュー

### 景気下降期を通じた事業の管理と景気回復に向けた態勢の構築

昨今の厳しい環境下、当グループは、株主の皆様のために長期的で持続可能なリターンを実現することを目指し、資本基盤を保守的に整備しています。また、預金者と借り主の両方のお客様に対して引き続き責任あるサポートを提供しています。業界が変化しつつあるこの時期に、当グループはターゲットとする市場でのシェアを拡大するための機会を活用しています。リスク管理については保守的アプローチを採用し、また、厳格なコスト管理を維持してきました。HSBC のブランド価値はさらに強化されており、『ユーロマネー』誌により「2009 年 ベスト・グローバル・バンク」として認められたことに喜びを感じています。

今年度上半期には、HSBC の将来にとって多くの明るい出来事がありました。

われわれは HSBC の特徴ともいえる財務力の継続的強化を図ってきました。株主割当増資を通じた資本強化により、当時発表した配当金の支払い後、コア Tier1 資本比率の更なる改善を実現しました。また、コア預金の獲得により、上半期末時点で 79.5% と保守的な預貸率を維持しました。困難な経済環境の中で預金スプレッドが依然圧縮傾向にあるものの、HSBC は強力かつ差別化された流動性ポジションに向けて全力で取り組んでいます。

当グループは、クレジットスプレッドを伴う自社債務の公正価値の変動分を除く営業ベースで、営業収益の大幅な伸びを実現しました。当グループは、政府の影響下にある銀行によって展開された激しい預金獲得競争の圏外に立っていましたが、強力なブランド力と選り抜いた価格設定のおかげで、2008 年の市場の混乱の中で獲得した高水準の個人預金残高を維持し増加させました。

当グループは世界の急成長市場における地位を引き続き強化しました。PwC (プライスウォーターハウスクーパース) の 2009 年「中国における外国銀行」調査で HSBC が主要な 10 カテゴリーで第 1 位に選出され、中国において主導的地位を占める国際的銀行として認められたことに、特に満足を感じています。

また、HSBC は収益成長と厳格なコスト管理とのバランスを保ちました。営業費用総額を削減したことで、クレジットスプレッドを伴う自社債務の公正価値の変動分を除いたコスト効率比率は 44.8% となり、目標範囲を上回りました。

以上のように、HSBC はバランスシートの構成に注意を払うとともに、顧客のニーズに重点を置いているため、グローバル・バンキング&マーケッツ事業の過去最高の成績に示されるように、収益機会が浮上した際にはそれを基に展開を図る態勢が整っているのです。それに加え、経済が回復に転じ、金利が上昇し始めたときには、預金に強みがあるため、収益が伸び、新規顧客の需要に対応する柔軟性も高まると確信しています。

### 急成長市場における事業の成長

HSBC は引き続き世界の急成長市場における地位を強化しつつあります。

中国本土が依然当グループの成長戦略の鍵を握っています。上半期には中国で HSBC ブラ

ンドの 8 支店を新たに開設し、年末までに約 100 支店とする計画が順調に進行しています。HSBC は農村部において中国本土の国際的な銀行の中で最大の基盤を有しており、今期新たに農村銀行を 2 支店追加して全部で 5 支店を構えています。また、恒生銀行も上半期に 2 ヶ所に新規支店を開設し、合計で 36 支店となっています。

中国以外では、インドネシアでバンク・エコノミの買収を完了して支店網をほぼ 2 倍にし、26 都市に 207 支店を有することとなりました。インドでは IL&FS インベスツマートの業務を成功裏に統合し、それによりウェルス・マネジメント事業の能力が高まり、77 の支店を付け加えることができました。顧客口座の残高は上半期に、香港、インド、中国本土を中心にして、アジア全体で 170 億米ドル以上増加しました。ラテン・アメリカでも、商業銀行事業とグローバル・バンキングのセクターで新たな預金を獲得しました。

### グローバル・バンキング&マーケット事業が過去最高益を達成

グローバル・バンキング&マーケット事業は 2009 年上半期に過去最高となる 63 億米ドルの税引前当期純利益を計上しました。この額は 2008 年上半期の税引前当期純利益の 2 倍以上、同下半期との比較では 7 倍以上の伸びに相当します。

先進国市場と急成長市場の両方で力強い収益が実現できたことで、新興国市場主導、ファイナンス中心の戦略が正しいことが証明されました。成功の要因は、以前の停滞した状況から活動が増大する中で、トレーディングとファイナンスで市場シェアを拡大したことにあります。市況も追い風となりました。半面、2009 年下半期の成績も、こうした市況変化とその方向性に一部影響を受けると見られます。

金利関連事業では過去最高の成績を収め、外国為替事業では引き続き好調な収益を上げており、中核商品の強みが浮き彫りになりました。ファイナンス関連の収益は、2008 年上半期に比べ 17% 増加して 16 億米ドルとなりましたが、こうした力強い伸びは、当グループが持つ顧客基盤の価値の例証となっています。HSBC は、欧州、中東、日本を除くアジア、およびラテン・アメリカにおける発行すべてを併せたブルームバーグの債券リーグテーブルで、3 位から順位を上げて 1 位の座に就きました。また、『ユーロマネー』誌から、初めて「ベスト・グローバル・デット・ハウス」とアジア、中東、ラテン・アメリカにおける「ベスト・デット・ハウス」に選出されました。

足元の低金利環境の中で当グループの総合ビジネス・モデルのもつ利点が強化されました。「バランスシート・マネジメント」は、低金利に備えた態勢の成果として、前年同期を大きく上回る 34 億米ドルの財務収益を生み出しました。

「グローバル・トランザクション・バンキング」からの収益貢献は 15 億米ドルでしたが、2008 年上半期と比べて 7 億米ドルの減少でした。これは主に、保護預り資産の減少と低金利環境によるものでしたが、2008 年同期に比べ預金残高が増加したことにより部分的に相殺されました。

金融市場の流動性が高まり、資本に関する懸念も後退したため、クレジットスプレッドが著しく改善しました。信用取引、レバレッジド・ファイナンスおよび買収ファイナンス、モノラインに対する与信のエクスポージャーにおける従来のポジションの評価減は 7 億 6,200 万米ドルとなり、2008 年の上半期および下半期のどちらと比べても大幅に低下しました。

売却可能価値証券として保有する資産担保証券は引き続き予想に沿った成績を示すとともに、3月に開示したストレス・テストのパラメータの範囲内にとどまっています。そのポートフォリオの帳簿価額は、主として政府系住宅金融機関 (GSE) 債の売却と償還により、2009年上半期中に562億米ドルから471億米ドルに減少しました。

経済状況の不振に伴い一部少数の顧客の信用状況が悪化したために、グローバル・バンキングの貸倒引当金が増加しました。

### 底堅さを示した商業銀行事業

2009年上半期の商業銀行事業は税引前当期純利益が24億米ドルとなり、現環境下で堅調な成績を上げました。基調となる税引前当期純利益は、経済環境の軟化に伴い2008年上半期に比べ39%減少しました。しかしながら、景気下降のスピードと深さを勘案するならば、信用の質は著しく良好な水準にとどまっており、貸倒引当金も2008年下半期とほぼ同水準でした。

商業銀行事業はこれまでと同様、急成長市場における拡大および国際的なニーズを持つ顧客に対するサービス提供というHSBCの戦略の中核をなしています。2009年上半期には顧客数が310万人に増加しましたが、新規顧客の61%は新興国市場の顧客でした。国際的商品による収益、とりわけ外国為替事業およびトレード&サプライチェーン事業からの収益が力強い伸びをみせました。グローバル・リンク・プログラムを通じたクロスボーダー紹介件数は前年上半期に比べ7%増加しました。

今年度上半期中、当グループの収益は、2008年に新興国市場と先進国市場の両市場で始まった、広範囲に及ぶ資産の再価格設定導入の成功による収益を享受しました。2009年については、多くの国々で信用力が改善し始めたことから、資産の再価格設定をさらに推進する余地は幾分限定されています。今年度上半期の収益はまた、主として預金利率の減少が原因で収益が5億米ドル減少して19億米ドルとなったグローバル・トランザクション・バンキングの寄与度低下も反映しています。

顧客の預金は高水準を維持しました。これは、2008年以後に発生した質への逃避を一部反映していると考えられます。しかしながら、景気下降にもかかわらず顧客貸付金も底堅く推移し、グループは、マレーシアで国際的なSME（中小企業向け）ファンドを設立する一方、7月に香港でのコミットメント額を再度増額し、160億香港ドルに達することにより小規模・中堅企業を支援しました。

### 個人金融サービス事業 - 長期的視点に立って

当グループの個人金融サービス事業の顧客の大半を占める預金者にとっては、厳しい経済環境が続いています。預金の比重が高い銀行であるHSBCも同様に苦境の中にあり、負債関連の収益が特に大きく落ち込んでいます。

その結果、個人金融サービス事業は、2009年上半期に12億米ドルの税引前純損失を計上しました。これは、米国外で上げた利益を上回る損失が米国で発生したためです。米国外では信用の質が劣化したものの、当グループの見方では、経済状況を勘案すれば満足できる水準にとどまっています。

個人顧客に対する当グループの取組みには変化がなく、もっと正常に近い金利環境が回復した場合には、当グループの流動性ポジションにより力強い収益機会がもたらされると見込まれます。現在の厳しい状況にあっても、HSBCは引き続きターゲット顧客層における成長を実現しています。リレーションシップ・バンキングとサービスの差別化に注力することで、新規富裕層顧客を獲得しつつあり、HSBCプレミアの顧客総数は過去12ヶ月間に23%増加しました。

当グループは英国で新規住宅ローン貸付のために150億ポンドのコミットメントを設定し、今年の上半期にはそのうち67億ポンドを貸し付けました。当グループは英国の住宅ローン売上高に占めるシェアを4.5%から9.5%に拡大し、一次取得者を支援するために市場に復帰した最初の大手金融機関の1つとなりました。香港でも、新規住宅ローン貸付を主導する地位を維持しています。6月には当グループの市場シェアが32%増加しましたが、その一方で貸倒引当金は極めて低い水準で推移しています。

### 米国の個人金融サービス事業が順調に進展

米国の個人金融サービス事業は2009年上半期に29億米ドルの税引前純損失を計上しました。これに対して2008年上半期は22億米ドルの損失、同下半期は営業権減損100億米ドルを含めて152億米ドルの損失でした。

HSBCファイナンスは813店の消費者金融店舗の閉鎖を完了し、それに伴い1億5,600万米ドルのリストラ費用が発生しましたが、この額は予想を下回るものでした。当グループは3月に着手した財務削減を順調に達成しつつあります。

当グループは現時点でランオフ事業に関して達成された進捗状況に満足しています。顧客の大部分は引き続き債務を履行しており、本年上半期の延滞総額は安定的に推移しました。貸倒引当金の増加率は予想を下回り、2008年下半期と比べ低下しました。その要因としては、高リスクのセグメントに対するエクスポージャーを削減するために過年度に実施された早期の措置、口座と回収の厳格な管理、貸出残高の減少、および政府の景気刺激策の影響などが挙げられます。

当グループの顧客にとってリファイナンスの機会が減少し、それに伴い、今年度上半期の住宅ローン・ポートフォリオの流出率も低下しました。しかしながら、最終的消費者金融ポートフォリオのあらゆる部分が今年度上半期中に減少し、当グループが2007年第1四半期に住宅ローンサービス事業を皮切りにそのポートフォリオの削減を開始して以来、2009年上半期の90億米ドル相当の削減を含め、総額で340億米ドル、率にして27%残高を減らし、現在は910億米ドルとなっています。また、当グループは引き続き、経済的困難に陥っている顧客を可能なかぎり支援しています。2009年上半期、HSBCファイナンスは差押え回避口座変更プログラムに基づき、残高総額が98億米ドルに上る6万9,000件以上の不動産顧客ローンの条件変更を行いました。

2009年上半期のカード事業は困難な経済状況にもかかわらず利益を計上しました。同期のカード・ポートフォリオは予想を上回るペースで縮小しましたが、その要因としては、新規件数の抑制および貸出限度額の引き下げのために講じた措置や、消費支出の減少の影響などを挙げることができます。全般的に、今年度上半期のカード事業の成績は、近年実施された当グループの与信選好の積極的管理や政府の刺激策などが一因で予想を上回る結果となりました。

### プライベートバンキング事業は堅調な収益を維持

プライベートバンキング事業は 6 億 3,200 万米ドルの税引前当期純利益を計上しましたが、これは過去最高となった 2008 年上半期に比べ 23% の減少、同下半期との比較では横ばいの水準でした。収益に影響を与えた要因は、株式市場の下落に起因する預り資産の価額の減少、および顧客のリスク選好度の低下に伴う株式、ファンド、仕組み商品の取引量減少などでした。それに加え、2008 年に計上されたような資産処分によるキャピタルゲインの発生がありませんでした。

顧客の資産は、顧客の継続的なデレバレッジの動きや、預り金獲得を目的とした非経済的な価格水準での競争を回避するとの当グループの決定にもかかわらず、3,450 億米ドルと安定した水準を維持しました。今年度上半期中、アジアおよびラテン・アメリカでは資金が純流入となり、また、グループ内の紹介により 20 億米ドルを上回る新規資金の純流入がありました。新規資金の純流入は減少しました。

### 保険事業は順調に進展

主として個人金融サービス事業の一環として遂行される保険事業は 12 億米ドルの利益を上げ、クレジットスプレッドを伴う自社債務の公正価値の変動分を除き、当グループの税引前当期純利益の 16% を占めました。2008 年上半期との比較では、営業ベースによる税引前当期純利益が 17% 減となりましたが、その一因として、欧州における損害保険の保険金支払状況の悪化が挙げられます。

しかしながら、営業ベースの正味既経過保険料は 10% の増加となり、また、生命保険商品に焦点を合わせた当グループの銀行・保険の提携戦略は、アジア、ラテン・アメリカおよびフランスで好成績を収めました。6 月には、ナショナル・トラストと共同所有する生命保険会社に対する営業許可が中国保険監督管理委員会から付与されました。これにより、当グループが中国本土で保険商品組成事業を確立することが可能となりました。

### 厳格なコスト管理と効率性

2009 年上半期には、グループ全体で、コスト管理と効率性改善の取組みを強化しました。1 回限りの業務再構築コストと余剰人員削減コストが発生したにもかかわらず、2008 年の営業権減損の影響を除いた営業ベースによるコストは、2008 年上半期と比べ 3% 減少しました。また、人員も 5% 削減し、社員数は 29 万 6,000 人となりました。

当グループは、「One HSBC」プログラムを通じて直接販売チャネルの展開を推進し、手作業によるプロセスを自動化し、オフショア・センターを発展させ、余剰なシステムを廃止しました。2009 年には、「One HSBC」プログラムに対する 4 億 5,000 万米ドル以上の投資を予定しています。

「HSBCnet」は顧客のためのグローバルなプラットフォームの開発として最も成功した例の 1 つと言えます。今年度上半期末までに 5 万社近い大企業が使用するようになっており、過去 2 年間でその数が 41% 増加しました。2009 年上半期には、小企業・零細企業をターゲットとするビジネス・ダイレクトを利用する顧客数も増加して、約 30 万人に達しました。

2009 年末までには、当グループの高額支払いの 4 分の 3 以上が「One HSBC」決済プログラ

ムを通じて処理されるようになるかと予想しています。同様に、今年末までに、当グループのカードの80%以上が共通プラットフォームを通じて利用されるようになり、それに伴い、外部のサービス・プロバイダーに対する依存度が低下すると同時に、スケールメリットを生かしてカード1枚当たりの処理費用の削減が可能になると見込んでいます。

### 積極的なリスク管理

大半の主要経済国で、景気回復の見通しは依然不透明な状態にあり、貸倒引当金の水準は高止まりが予想されます。したがって、HSBCは今後も資産基盤の質を注意深く管理し、リスクに対して保守的なアプローチをとります。

当グループは、個人顧客のポートフォリオに関して、これまで引受基準を次第に厳格化し、顧客のローン負担能力の評価を改善し、回収プロセスを強化し、さらに、一部の高リスクの消費者向け商品からは積極的に撤退してきました。現在は、質がより高くリスクがより低い事業に的を絞っています。

商業銀行事業に関しては、景気が落ち込むなか、より積極的なリレーションシップ・マネジメントを通じて顧客への支援を続けてきました。大口顧客向け事業に関しては、長期にわたる中核的顧客へのサービス提供に照準を合わせており、また、一部の脆弱かつ高リスクの業種セクターについてはリスク選好度を抑制しています。

過去数年、リスク管理のために講じてきた他の措置も効果を発揮しています。2007年以降、商業用不動産へのエクスポージャーに対する選好度を抑制しました。現在その効果が現れており、これまで当グループは大規模な減損を回避できています。高リスクのレバレッジド・ファイナンスや買収ファイナンスへの投資機会に対する選好は常に抑制的であり、かつ市場の最上位クラスに限定してきました。また、米国の大手自動車メーカーに対するエクスポージャーの大幅削減を進めてきており、破産したメーカーに対しては重大なエクスポージャーはありませんでした。最後に、最近特に一部の国が苦境に陥っている東欧諸国に対するエクスポージャーについても、HSBCでは限定的にとどめています。

### HSBCのブランド力と競争優位性の活用

2009年上半期におけるHSBCの業績には勇気付けられるものがあります。多様性を通じて一貫した成果を上げる能力と、戦略的優先順位に従って行動する能力を再度証明できたからです。経済的な不透明感が続く状況にもかかわらず、HSBCは自身のこうした能力に自信を持っています。

世界から寄せられるHSBCへの高い評価に誇りを感じていますし、今年度上半期にはブランド・ファイナンス社から世界最高の銀行ブランドに選出されました。また、HSBCの社員に対しても同様に誇りを感じており、私としても、そのたゆまぬ努力と世界中のHSBCのお客様に対する献身について社員全員に感謝の意を表明したいと思います。

この強力なブランド力と卓越した人材のおかげで、預金や借り入れやその他すべての金融サービスについてお客様が引き続きHSBCを選んでくださると確信を抱いています。したがって、HSBCは、先進国市場で市場シェアを獲得する上でも、また急成長市場で今後事業を発展させる上でも強力かつ競争優位な地位に立っていると自信をもって言うことができます。

2009 年 上半期			2009 年 上半期	2008 年 上半期	2008 年 下半期
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		<b>上半期</b>			
<b>3,378</b>	<b>38,912</b>	税引前当期純利益	<b>5,019</b>	10,247	(940)
<b>2,253</b>	<b>25,949</b>	親会社株主帰属利益	<b>3,347</b>	7,722	(1,994)
<b>1,836</b>	<b>21,150</b>	配当金	<b>2,728</b>	6,823	4,478
		<b>上半期末</b>			
<b>71,605</b>	<b>917,251</b>	総株主持分	<b>118,355</b>	126,785	93,591
<b>93,888</b>	<b>1,202,692</b>	自己資本総額	<b>155,186</b>	146,950	131,460
		顧客勘定および銀行預 り金	<b>1,292,494</b>	1,316,075	1,245,411
<b>1,465,215</b>	<b>18,769,283</b>	総資産	<b>2,421,843</b>	2,546,678	2,527,465
<b>701,361</b>	<b>8,984,374</b>	リスク加重資産	<b>1,159,274</b>	1,231,481	1,147,974

ポンド	香港ドル		米ドル	米ドル	米ドル
		<b>普通株式 1 株当たり</b>			
<b>0.14</b>	<b>1.63</b>	利益 (基本ベース)	<b>0.21</b>	0.57	(0.16)
<b>0.14</b>	<b>1.63</b>	利益 (希薄化後ベース)	<b>0.21</b>	0.57	(0.15)
		営業ベース利益 (営業権 減損を除く)	<b>0.21</b>	0.61	0.58
<b>0.12</b>	<b>1.40</b>	配当金*	<b>0.18</b>	0.57	0.36
<b>4.01</b>	<b>51.38</b>	純資産	<b>6.63</b>	10.27	7.44

**株式情報**

0.50 米ドル：発行済普通株式	<b>17,315</b>	12,005	12,105
	百万株	百万株	百万株
時価総額	<b>1,410</b>	1,850	1,140
	億米ドル	億米ドル	億米ドル
株価 (終値)	<b>5.025 ポンド</b>	7.76 ポンド	6.62 ポンド
	<b>1 年</b>	<b>3 年</b>	<b>5 年</b>
2009 年 6 月 30 日までの総株主リターン**	<b>79.0</b>	<b>72.1</b>	<b>91.9</b>
ベンチマーク：FTSE100	<b>79.1</b>	<b>81.9</b>	<b>114.5</b>
MSCI ワールド	<b>71.0</b>	<b>79.2</b>	<b>102.9</b>
MSCI 銀行	<b>66.0</b>	<b>53.3</b>	<b>74.4</b>

\* IFRS の会計規則によれば、財務諸表に表示される 1 株当たり配当金 0.18 米ドルは 2009 年上半期に表明された配当金の総額である。これは 2008 年第 4 中間期と 2009 年の第 1 中間期の配当金の総額を示す。

\*\* 総株主リターン (TSR) は「2008 年度年次報告書および財務諸表」で定義されている。

	2009年 上半期	2008年 上半期	2008年 下半期
	%	%	%
<b>財務比率</b>			
平均投下資本利益率 <sup>1</sup>	5.0	11.1	(3.2)
平均総株主持分利益率	6.4	12.1	(3.4)
税引後平均総資産利益率	0.31	0.68	(0.14)
税引後平均リスク加重資産利益率	0.66	1.39	(0.31)
<b>効率比率および収益構成比率</b>			
コスト効率比率			
－ 報告値	47.9	51.0	68.6
－ 営業権減損損失を除く値	47.9	49.7	44.8
総営業収益に対する：			
－ 純利息収益比率	51.0	49.4	46.8
－ 純手数料収益比率	20.9	25.6	19.8
－ 純トレーディング収益比率	15.5	8.9	6.0
<b>自己資本比率</b>			
－ Tier1 資本	10.1	8.8	8.3
－ 自己資本合計	13.4	11.9	11.4

<sup>1</sup> 投下資本利益率は普通株主帰属利益に基づいている。平均投下資本は、平均総株主持分+引当金に直接戻し入れた償却済み営業権－HSBC ホールディングスの平均発行済み優先株－/ (+) 実効的なキャッシュフロー・ヘッジと売却可能有価証券に係る平均未実現利益/ (損失) 準備金として計測される。この計測は当初の投下資本とその後の利益を反映したものである。

2009年 上半期			2009年 上半期	2008年 上半期	2008年 下半期
百万ポンド	百万香港 ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
21,858	251,810	受取利息	32,479	47,164	44,137
(8,036)	(92,579)	支払利息	(11,941)	(25,986)	(22,752)
13,822	159,231	純利息収益	20,538	21,178	21,385
6,859	79,011	受取手数料	10,191	13,381	11,383
(1,186)	(13,669)	支払手数料	(1,763)	(2,390)	(2,350)
5,673	65,342	純手数料収益	8,428	10,991	9,033
		純利息収益を除く			
2,894	33,346	トレーディング収益	4,301	639	208
		トレーディング業務に係る純			
1,316	15,149	利息収益	1,954	3,195	2,518
4,210	48,495	純トレーディング収益	6,255	3,834	2,726
		発行済長期債およびその派			
(1,548)	(17,832)	生商品の公正価値変動分	(2,300)	577	6,102
		公正価値で表示されるその			
		他金融商品からの純収益／			
523	6,024	(損失)	777	(1,161)	(1,666)
		公正価額で表示されている金			
(1,025)	(11,808)	融商品からの純収益／(損失)	(1,523)	(584)	4,436
		金融投資からの利益			
217	2,504	(損失控除後)	323	817	(620)
38	442	受取配当金	57	88	184
3,373	38,858	純既経過保険料	5,012	5,153	5,697
-	-	フランス地方銀行の売却益	-	-	2,445
779	8,979	その他の営業収益	1,158	1,435	373
27,087	312,043	純営業収益	40,248	42,912	45,659
		純既発生保険金および保険契			
(3,706)	(42,696)	約者債務の変動	(5,507)	(3,437)	(3,452)
		貸倒引当金およびその他の信			
23,381	269,347	用リスク引当金前純営業収益	34,741	39,475	42,207
		貸倒引当金およびその他の信			
(9,376)	(108,007)	用リスク引当金	(13,931)	(10,058)	(14,879)
14,005	161,340	純営業収益	20,810	29,417	27,328
(6,196)	(71,382)	人件費	(9,207)	(10,925)	(9,867)
(4,211)	(48,519)	一般管理費	(6,258)	(7,479)	(7,781)
		有形固定資産償却費および減			
(548)	(6,311)	損損失	(814)	(863)	(887)
-	-	営業権減損損失	-	(527)	(10,037)
		無形資産償却費および減損損			
(255)	(2,938)	失	(379)	(346)	(387)
(11,210)	(129,150)	営業費用合計	(16,658)	(20,140)	(28,959)
2,795	32,190	営業利益／(損失)	4,152	9,277	(1,631)
		関連会社および合弁会社から			
583	6,722	の利益分配金	867	970	691
3,378	38,912	税引前当期純利益／(損失)	5,019	10,247	(940)
(865)	(9,970)	税金	(1,286)	(1,941)	(868)
2,513	28,942	当期利益／(損失)	3,733	8,306	(1,808)

2009年 上半期			2009年 上半期	2008年 上半期	2008年 下半期
百万ポンド	百万香港 ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
2,253	25,949	親会社株主帰属利益 / (損失)	3,347	7,722	(1,994)
260	2,993	少数持分帰属利益	386	584	186

	2009年 上半期 百万米ドル	2008年 上半期 百万米ドル	2008年 下半期 百万米ドル
当期純利益／（損失）	3,733	8,306	(1,808)
<b>その他包括利益</b>			
売却可能投資:			
－資本直入された評価益／（評価損）	4,067	(8,475)	(15,247)
－売却により損益計算書に振り替えられた評価益	(720)	(920)	(396)
－減損による損益計算書に振り替えられた評価損	872	384	1,395
－法人所得税	(349)	705	650
	<u>3,870</u>	<u>(8,306)</u>	<u>(13,598)</u>
キャッシュフロー・ヘッジ			
－資本直入された評価益／（評価損）	(111)	914	(2,634)
－損益計算書に振り替えられた評価益／（評価損）	856	(1,134)	2,888
－法人所得税	(293)	25	65
	<u>452</u>	<u>(195)</u>	<u>319</u>
確定給付年金プラン関連の保険数理差損利益／（損失）			
－税引前法人所得税	(3,578)	(910)	(699)
－法人所得税	969	215	219
	<u>(2,609)</u>	<u>(695)</u>	<u>480</u>
株式報酬 - 法人所得税	(9)	(9)	(9)
その他の包括利益のうち関連会社および合弁会社の持分 為替差額	105	(342)	(217)
	<u>3,450</u>	<u>3,170</u>	<u>(15,375)</u>
当期のその他の包括利益 - 税効果後	5,259	(6,377)	(29,342)
当期包括利益	<u>8,992</u>	<u>1,929</u>	<u>(31,150)</u>
当期包括利益の帰属:			
－親会社株主	8,388	1,523	(30,748)
－少数株主持分	604	406	(402)
	<u>8,992</u>	<u>1,929</u>	<u>(31,150)</u>

2009年 上半期末			2009年 上半期末	2008年 上半期末	2008年 下半期末
百万ポンド	百万香港 ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
<b>資産</b>					
34,103	436,852	現金および中央銀行預け金	56,368	13,473	52,396
10,051	128,751	受取為替	16,613	16,719	6,003
9,774	125,208	香港政庁債務証券	16,156	14,378	15,358
250,686	3,211,275	トレーディング資産	414,358	473,537	427,329
		公正価額で表示されている			
20,183	258,548	金融資産	33,361	40,786	28,533
188,032	2,408,669	デリバティブ資産	310,796	260,664	494,876
110,271	1,412,562	銀行貸付金	182,266	256,981	153,766
559,433	7,166,293	顧客貸付金	924,683	1,049,200	932,868
213,834	2,739,190	金融投資	353,444	274,750	300,235
20,720	265,437	その他の資産	34,250	52,670	37,822
727	9,308	当期税金資産	1,201	1,443	2,552
8,764	112,267	前払金および未収収益	14,486	17,801	15,797
7,451	95,449	関連会社および合弁会社持分	12,316	11,259	11,537
17,609	225,564	営業権および無形資産	29,105	40,814	27,357
8,817	112,941	有形固定資産	14,573	15,713	14,025
4,760	60,969	繰延税金資産	7,867	6,490	7,011
<b>1,465,215</b>	<b>18,769,283</b>	<b>資産合計</b>	<b>2,421,843</b>	<b>2,546,678</b>	<b>2,527,465</b>

2009年 上半期末			2009年 上半期末	2008年 上半期末	2008年 下半期末
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		<b>負債および自己資本 負債</b>			
9,774	125,208	香港流通紙幣	16,156	14,378	15,358
78,136	1,000,920	銀行預り金	129,151	154,152	130,084
703,823	9,015,908	顧客勘定	1,163,343	1,161,923	1,115,327
9,684	124,054	支払為替	16,007	15,329	7,232
160,060	2,050,356	トレーディング負債 公正価額で表示されている	264,562	340,611	247,652
46,775	599,185	金融負債	77,314	89,758	74,587
180,820	2,316,289	デリバティブ負債	298,876	251,357	487,060
94,500	1,210,542	社債	156,199	230,267	179,693
42,426	543,466	その他の負債	70,125	48,435	72,384
1,376	17,624	当期税金負債	2,274	3,082	1,822
29,151	373,426	保険契約債務	48,184	46,851	43,683
7,976	102,176	未払費用および繰延収益	13,184	17,592	15,448
1,179	15,105	引当金	1,949	1,872	1,730
1,119	14,330	繰延税金負債	1,849	1,924	1,855
4,379	56,095	退職給付債務	7,238	3,619	3,888
18,231	233,539	劣後負債	30,134	31,517	29,433
<b>1,389,409</b>	<b>17,798,223</b>	負債合計	<b>2,296,545</b>	<b>2,412,667</b>	<b>2,427,236</b>
		<b>自己資本</b>			
5,238	67,100	資本金	8,658	6,003	6,053
5,076	65,023	株式発行差金勘定	8,390	8,097	8,463
1,290	16,531	その他持分	2,133	2,134	2,133
11,608	148,692	その他の準備金	19,186	27,561	(3,747)
48,393	619,905	留保利益	79,988	82,990	80,689
71,605	917,251	総株主持分	118,355	126,785	93,591
4,201	53,809	少数株主持分	6,943	7,226	6,638
75,806	971,060	自己資本合計	125,298	134,011	100,229
<b>1,465,215</b>	<b>18,769,283</b>	自己資本および負債合計	<b>2,421,843</b>	<b>2,546,678</b>	<b>2,527,465</b>

	2009年 上半期末	2008年 上半期末	2008年 下半期末
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>			
税引前当期純利益（損失）	5,019	10,247	(940)
<i>調整項目：</i>			
純利益に含まれるキャッシュ以外の項目	16,255	12,900	28,405
営業資産の変動	(37,279)	(101,131)	119,254
営業負債の変動	22,246	69,395	(132,808)
外貨換算差額消去	(7,878)	(11,632)	47,764
投資活動からの純利益	(911)	(1,555)	(2,640)
関連会社および合弁会社の利益シェア	(867)	(970)	(691)
関連会社から受領した配当金	195	405	250
確定給付年金債務向け拠出金	(440)	(416)	(303)
税金	118	(2,152)	(2,962)
営業活動による純キャッシュフロー	3,542	(24,909)	55,329
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>			
金融投資購入	(163,988)	(123,464)	(153,559)
金融投資の売却および満期による手取金	112,927	126,384	96,754
有形固定資産購入	(781)	(1,112)	(1,873)
有形固定資産売却手取金	2,203	2,156	311
ローン・ポートフォリオ売却手取金	3,961	-	9,941
無形資産純購入	(463)	(553)	(616)
子会社株式の取得および増加による純キャッシュ流入／（流	(574)	1,608	(295)
子会社売却による純キャッシュ流入	-	440	2,539
関連会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(20)	(122)	(233)
資金の連結による純キャッシュ流入	-	-	16,500
関連会社および合弁会社売却手取金	308	(8)	109
投資活動に使用された純キャッシュ	(46,427)	5,329	(30,422)
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>			
普通株式資本の発行			
一株式の発行	18,179	-	-
一その他	2	52	415
優先株式の発行	-	2,134	(1)
値付け目的および投資目的による自社株式の純購入および			
売却	(51)	(202)	8
株式報奨・ストックオプション報奨のための自社株式購入	(62)	(783)	(25)
ストックオプションの行使	-	14	13
劣後ローン資本の発行	2,763	5,582	1,512
劣後ローン資本の返済	(154)	6	(356)
親会社株主への配当金	(2,426)	(3,825)	(3,386)
少数株主持分への配当金	(433)	(394)	(320)
その他持分保有者への配当金	(89)	-	(92)
財務活動に使用された純キャッシュ	17,729	2,584	(2,232)
<b>現金および現金同等資産の純増加（減少）</b>	<b>(32,240)</b>	<b>(16,996)</b>	<b>22,675</b>
期首現金および現金同等資産	278,872	297,009	287,538
現金および現金同等資産に関する外貨換算差額	5,064	7,525	(31,341)
<b>期末現金および現金同等資産</b>	<b>251,696</b>	<b>287,538</b>	<b>278,872</b>

	2009年 上半期末	2008年 上半期末	2008年 下半期末
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
<b>資本金</b>			
期首	6,053	5,915	6,003
従業員持株制度に基づいて発行された株式	-	2	18
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	75	86	32
株主割当増資により発行された株式	2,530	-	-
期末	8,658	6,003	6,053
<b>株式発行差金勘定</b>			
期首	8,463	8,134	8,097
従業員持株制度に基づいて発行された株式	3	50	400
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	(75)	(87)	(34)
その他の変動額	(1)	-	-
期末	8,390	8,097	8,463
<b>その他の持分商品</b>			
期首	2,133	-	2,134
当期中の資本証券	-	2,134	-
その他の変動額	-	-	(1)
期末	2,133	2,134	2,133
<b>留保利益</b>			
期首	80,689	81,097	82,990
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	814	2,489	1,107
株主配当金	(2,728)	(6,823)	(4,478)
自己株式調整	(113)	(985)	(17)
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の権利確定	658	500	327
その他の変動額	(103)	15	(267)
振替額	-	-	3,601
当期包括利益	771	6,697	(2,574)
期末	79,988	82,990	80,689
<b>その他の準備金</b>			
売却可能金融資産に係る公正価値準備金			
期首	(20,550)	850	(7,292)
その他の変動額	-	(30)	104
当期包括利益	3,755	(8,112)	(13,362)
期末	(16,795)	(7,292)	(20,550)
キャッシュフロー・ヘッジ準備金			
期首	(806)	(917)	(1,116)
その他の変動額	-	(12)	17
当期包括利益	466	(187)	293
期末	(340)	(1,116)	(806)
外国為替準備金			
期首	(1,843)	10,055	13,180
その他の変動額	-	-	82
当期包括利益	3,396	3,125	(15,105)
期末	1,553	13,180	(1,843)

	2009年 上半期末	2008年 上半期末	2008年 下半期末
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
<b>株式報酬準備金</b>			
期首	1,995	1,968	1,731
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の 権利確定	(699)	(587)	(261)
株式報酬契約費用	355	427	392
その他の変動額	11	(77)	133
期末	1,662	1,731	1,995
<b>合併準備金</b>			
期首	17,457	21,058	21,058
株主割当増資により発行された株式	15,649	-	-
振替額	-	-	(3,601)
期末	33,106	21,058	17,457
<b>総株主持分</b>			
期首	93,591	128,160	126,785
従業員持株制度に基づいて発行された株式	3	52	418
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生し た金額	814	2,488	1,105
株主割当増資により発行された株式	18,179	-	-
当期中に発行された資本証券	-	2,134	-
株主配当金	(2,728)	(6,823)	(4,478)
自己株式調整	(113)	(985)	(17)
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の 権利確定	(41)	(87)	66
株式報酬契約費用	355	427	392
その他の変動額	(93)	(104)	68
当期包括利益	8,388	1,523	(30,748)
期末	118,355	126,785	93,591
<b>少数株主持分</b>			
期首	6,638	7,256	7,226
株主配当金	(513)	(506)	(307)
その他の変動額	12	(5)	78
取得、処分および株式発行に起因する少数株主持分純増額	202	75	43
当期包括利益	604	406	(402)
期末	6,943	7,226	6,638
<b>自己資本合計</b>			
期首	100,229	135,416	134,011
従業員持株制度に基づいて発行された株式	3	52	418
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生し た金額	814	2,488	1,105
株主割当増資により発行された株式	18,179	-	-
当期中に発行された資本証券	-	2,134	-
株主配当金	(3,241)	(7,329)	(4,785)
自己株式調整	(113)	(985)	(17)
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の 権利確定	(41)	(87)	66
株式報酬契約費用	355	427	392
その他の変動額	(81)	(109)	146
取得、処分および株式発行に起因する少数株主持分純増額	202	75	43
当期包括利益	8,992	1,929	(31,150)
期末	125,298	134,011	100,229